

令和7年度 第3回深谷市地域公共交通会議 議事録

開催日時： 令和7年8月26日（火）14時00分～15時00分
開催場所： 深谷市役所本庁舎3階 災害対策本部室
出席委員： 長原会長、高田委員、大久保委員、高原委員、近藤委員代理：小嶋氏、平山
（19名） 委員代理：橋本氏、荒木委員、山本委員、原委員、村岡委員、清水委員、内
田委員代理：佐竹氏、川村委員代理：田村氏、鈴木委員、赤岩委員、市川委
員代理：持田氏、村岡委員代理：横瀬氏、茂木委員、渡部委員
欠席委員： 浅見委員、田尻委員、関根委員、中山委員、大谷委員、島根委員、佐山委員
（7名）
傍聴人： 0名
議事次第： 別紙参照
配布資料： 別紙参照

1. 開 会

2. あいさつ

3. 協議事項

議案第1号 深谷市コミュニティバス「くるリン」（定時定路線・デマンドバス）再 編計画の策定について

◆事務局および本業務の受託業者より資料1-1、1-2、資料2、資料3、資料4の説明

◆質疑

【村岡委員】 コミュニティバスの利用者の年齢層を教えてください。

【受託業者】 昨年度、コミュニティバス利用者を対象にアンケート調査を行い、定
時定路線は、50歳以上の利用者が大半を占めており、75歳から84歳
の方の利用が最も多い。デマンドバスも同様、75歳から84歳の方の利
用が最も多く、65歳から74歳、85歳以上の方の利用も多い傾向である。
コミュニティバスの利用者は、どちらも高齢者の利用が多い傾向であ
り、特にデマンドバスの方が、高齢者の利用割合が高い傾向にある。

デマンドバスの利用実績では、70代が19.8%、80代が27.0%と70代
以上で全体の半数を占めている。

【村岡委員】 利用者アンケート調査と利用実績とで、年齢区分が違う理由は。

- 【受託業者】 利用者アンケート調査は利用者を対象にしたアンケート調査の数値、利用実績は実利用者を基にした数値であり、実数に近い数値である。
- 【村岡委員】 若い方も利用されているのか。
- 【受託業者】 利用実績より、10代が6.9%、20代が5.7%、30代が5.3%、40代が7.2%、50代が11.0%、60代が9.8%と若い方も利用されている。
- 【村岡委員】 デマンドバスの利用方法が分からない。お年寄りの方で利用したくても利用方法が分からない方に対し、利用方法を周知する必要があるのではないか。
- 【事務局】 市では、公民館や自治会館による要請や依頼に対し、まごころ出張講座を開催し、説明や利用登録の場を設け、利用促進を図っている。
配布資料のガイドマップには、デマンドバスの利用方法を記載している。ガイドマップを4月に全戸配布を行った。
- 【村岡委員】 利用登録は必要か。
- 【事務局】 デマンドバスについては、利用登録が必要である。
- 【高田委員】 資料4の課題①に「機能分担を明確化する」と明示されている。民間事業者からすると、機能分担を明確化することにより、行政補助の交通サービスしか残らなくなるのではないかと見込んでいる。今後、業務を行うにあたり、劣化していくものについて、どのように対応していくかが課題である。事業を継続していくためには、明確化ではなく、共創・共有していくことが最終的には必要であると考えている。今後、劣化していく公共交通を検討するにあたり、行政と民間事業者の責任や予算の排出方法を明確化し、共創・共有できるような基本方針を今の段階から検討してほしい。
- 【事務局】 今後の参考にさせていただく。
- 【清水委員】 課題⑤に「予約のしやすいシステムの構築」は、長年の課題である。他の先進自治体では、LINE やアプリ等、使いやすいシステムが導入されている。全く無いシステムを取組むのではなく、他の自治体で導入さ

れているものなので、深谷市でも導入することができるのではないかと。

【事務局】 予約成立率が低いことから、他市の事例を参考にしながら、より予約しやすい方法を検討している。再編する際には、システムの再構築を行いたいと考えている。

【清水委員】 予約成立率が低い理由として、予約が取りづらいことや利用者の利用したい時間が集中している等の要因が考えられ、1つ1つの改善が必要である。デマンドバスを予約した後に、病院を予約するといった利用者の予約方法についても検討していかなければならない。

デマンドバスの再編内容には、乗降ポイントの変更と記載されている。利用者データとして、どの人がどこに行くのかという情報が収集されているのではないかと。特定の方の情報を基に乗降ポイントを変更することにより、アンケートの調査結果も改善される。新たな利用者を考える場合、特定の利用者のために乗降ポイントを変更するよりは、将来的なことも検討してほしい。乗降データを提示し、検討しないとデマンドバスの再編は上手くいかないと思う。データの集計結果を基に、委託業者が再編案を提示するような形が良いのではないかと。

【事務局】 乗降データを再確認し、乗降ポイントを検討する。

定時定路線とデマンドバスの役割を明確化したい理由として、通勤通学にデマンドバスを利用し、通院等で利用したい高齢者の予約が取りづらい傾向が見られた。予約体制の変更等を行い、65歳以上の方が利用しやすいデマンドバスのサービスにしていきたい。

【清水委員】 通勤通学で利用する時間がほとんど決まっている一方、病院は利用する時間が決まっていない。システムを検討するにあたり、利用者に予約が取りやすい時間帯等の情報を発信するアプリがある。利用者の利用状況を整理して、再編を進めてほしい。

【長原会長】 デマンドバスの利用データを多く収集している。次回の会議では、データをわかりやすく整理し、委員の皆様に説明してほしい。

【長原会長】 その他、質疑等あるか。

(意見なし)

【長原会長】 それでは、議案第 1 号については原案の通り承認するということでしょうか。

(異議なし)

【長原会長】 異議なしとのことで、「議案第 1 号深谷市コミュニティバス「くるリン」(定時定路線・デマンドバス) 再編計画の策定について」は原案のとおり承認された。

5. その他事項

6. 閉 会